

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)

【公開番号】特開 2006-63507 (P2006-63507A)

【公開日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2005-216965 (P2005-216965)

【国際特許分類】

D 0 6 N 3/00 (2006.01)

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

【F I】

D 0 6 N 3/00 D A A

D 0 4 H 1/42 X

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 14 日 (2008.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単繊維繊維度 0 . 0 0 0 1 ~ 0 . 5 デシテックスの極細繊維が相互に絡合した不織布で構成され、かつ繊維の表面に存在する微粒子を含むことを特徴とする皮革様シート状物。

【請求項 2】

目付が 1 0 0 ~ 5 5 0 g / m<sup>2</sup>、繊維見掛け密度が 0 . 2 3 0 ~ 0 . 7 0 0 g / c m<sup>3</sup>、引き裂き強力が 3 ~ 5 0 N であり、かつ下式 ( 2 ) を満足することを特徴とする請求項 1 に記載の皮革様シート状物。

$$\text{引張強力 ( N / c m ) } = 0 . 4 5 \times \text{目付 ( g / m } ^ { 2 } \text{ ) } - 4 0 \quad ( 2 )$$

【請求項 3】

マーチンデル法における摩耗試験において、2 0 0 0 0 回摩耗した時の摩耗減量が 2 0 m g 以下であり、かつ毛玉の数が 5 個以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の皮革様シート状物。

【請求項 4】

実質的に繊維素材からなることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の皮革様シート状物。

【請求項 5】

少なくとも一方の面が立毛を有していることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の皮革様シート状物。

【請求項 6】

柔軟剤が含まれていることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の皮革様シート状物。

【請求項 7】

該極細繊維が繊維長 0 . 1 ~ 1 0 c m の短繊維であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の皮革様シート状物。

【請求項 8】

単繊維繊維度 0 . 0 0 0 1 ~ 0 . 5 デシテックスの極細繊維が発生可能な単繊維繊維度 1 ~ 1 0 デシテックスの短繊維をニードルパンチにより絡合させた後に、極細繊維を発生させて

極細短繊維不織布とし、次いで少なくとも10MPaの圧力で高速流体処理を行って再度絡合させ、その後に染色し、微粒子を付与することを特徴とする皮革様シート状物の製造方法。

【請求項9】

微粒子を付与する前に起毛処理を行うことを特徴とする請求項8に記載の皮革様シート状物の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は上記課題を解決するために、以下の構成を有するものである。

すなわち、本発明の皮革様シート状物は、単繊維繊維度0.0001～0.5デシテックスの極細繊維が相互に絡合した不織布で構成され、かつ繊維の表面に存在する微粒子を含むことを特徴とするものである。

また、本発明の皮革様シート状物の製造方法は、単繊維繊維度0.0001～0.5デシテックスの極細繊維が発生可能な単繊維繊維度1～10デシテックスの短繊維をニードルパンチにより絡合させた後に、極細繊維を発生させて極細短繊維不織布とし、次いで少なくとも10MPaの圧力で高速流体処理を行って再度絡合させ、その後に染色し、微粒子を付与することを特徴とするものである。